



令和7年度看護分野の情報管理と情報教育の研修会

責任者：遠藤 良仁、共同者：岡田 みずほ

研修概要1：第7回 看護の可視化とコマンドセンター

テーマ：コマンドセンターによる可視化



リアルタイムデータを用いた病床管理と、看護師の最適配置による残業削減の事例を学習。

参加者数：合計21名

令和7年
8月2日

看護職をはじめ、医療機器メーカー、電子カルテベンダーなど、多種多様な関係者が参加して交流。

研修概要2：第8回 クリニカルパスの基本の「ほ」

業務標準化の核となるパスの基礎を再確認

テーマ：クリニカルパスの基礎と実践



参加者の声

「自院での導入イメージが湧いた。」
「交流会を通して、他施設の運用や課題を直接聞いたことが具体的な一歩につながる。」

看護の可視化への高い関心：
「可視化は業務負担の改善、収益向上に重要」との認識が参加者との間で共有された。

満足度
77.8%が
「最高評価」

第8回アンケートでは、回答者の約8割が内容に「非常に満足」と回答。

地域医療DXを支える学習コミュニティ：岩手県内の看護師が施設を超えて知識をアップデートし、本音で語り合える交流の場を提供。